

# 港湾海洋調査士認定制度の改正

(社)海洋調査協会

## 1. 港湾海洋調査士制度改正の目的

港湾海洋調査士の資格は、管理技術者となれる資格のなかで、もっとも若く資格を取得できる。大卒であれば28才で取得可能である。これに対し、RCCMの資格は、長期間の実務経歴を必要とし、37才以上でないと取得できない。従って、実務経歴、教育については、質の高いものが要求される。海洋調査協会は、この主旨にそって、試験制度の改正を行うことにした。

この改正は、**港湾海洋調査士補の新資格の創設**および**海洋調査協会 CPD 制度(ポイント制)**を導入して、実務経歴の質の向上、各種証明の信憑性の向上、継続的な教育(知識・技能の習得)の促進を目的とする。

## 2. 海洋調査協会CPD 制度

海洋調査協会 CPD制度は、以下に示す実務経歴 CPDポイントと教育 CPDポイントとで構成している。

### ① 対象実務経歴と教育及び必要証明書類

表-1に実務経歴 CPDポイントの対象となる業務内容、CPD単位と**必要証明書類**を、表-2に教育 CPDポイントの対象となる教育内容、CPD単位と**必要証明書類**を示す。

### ② ポイントの管理と証明書類の保管

協会が無料配布するポイント管理ソフトを用いて、実務経歴、研修受講等の度に、速やかにポイントを登録し、その都度証明書類を作成し、自ら保存・管理する。このソフトは、登録日が変更できなく、実務経歴・教育経歴が発生から1年以内でしか登録できない。<sup>\*1</sup> また、登録日は、インターネット時計を用いる仕様になっている。したがって、登録には、パソコンをインターネットにつなぐ必要がある。<sup>\*1</sup>: 移行期間中は、特例措置⑤がある。

### ③ 受験・更新時の審査用資料の作成

受験・更新時は、ポイント管理ソフトを用いて登録データを印字したものに、登録の都度作成した証明書類のコピーを添付して審査資料として提出する。

### ④ ソフトの入手の方法

平成20年3月末までに、海洋調査協会の HP で公開、ダウンロードにより入手。

入手の資格:なし。誰でもソフトを入手可能。

### ⑤ 経歴の登録の特別措置

平成21年度から1年度前の経歴からしか登録できなくなる。たとえば、平成23年度は、平成23年度と22年度の経歴の登録のみが可能となる。**ただし、移行措置として、平成19年度以前の経歴等の登録は、平成22年度以前に限って可能になっている。**

### ⑥ 海洋調査協会 CPD 制度の開始時期

平成20年 4月1日から開始する。

表—1 海洋調査協会 実務経験 CPD単位と必要証明書類

実務内容	ポイント数	証明書類
管理技術者・同等責任者・照査技術者	2 × 業務日数	調査職員通知書の写し 及び 管理(照査)技術者等通知書の写し
担当技術者・技術開発担当者	1.5 × 業務日数	調査職員通知書の写し 及び 担当技術者通知書の写し
担当技術者・技術開発担当者・補助者	1 × 業務日数	所属長の証明印付き書類

調査職員：発注者側の担当者

【なお、発注者に証明内容について問い合わせることがあり、申告内容に虚偽の記載等が判明した場合には、登録の抹消などの措置を講じる。】

【証明印付き書類：ポイント管理ソフトが打ち出す証明書を利用のこと。】

表—2 海洋調査協会 教育 CPD単位と必要証明書類

教育内容	ポイント数	証明書類
港湾海洋調査士研修共通部門	20	海洋調査協会発行証明書
港湾海洋調査士研修専門部門	30	海洋調査協会発行証明書
講習会、研修会等への参加 港湾海洋調査関係	2 × 参加時間	主催者の証明または上司の証明 (プログラム添付のこと)
講習会、研修会等への参加	1 × 参加時間	主催者の証明または上司の証明 (プログラム添付のこと)
口頭発表(学術発表会)	30 / 異なる講演内容	発表者名付きプログラムのコピーまたは、主催者の証明
口頭以外の発表者(学術発表会)	20 / 異なる講演内容	発表者名付きプログラムのコピーまたは、主催者の証明
論文発表(学術雑誌への査読付き論文発表)	30 / 異なる講演内容	発表論文の写し
論文発表(一般論文、総説等)	20 / 異なる講演内容	発表論文の写し
技術図書の執筆	0.5 × 刷上ページ数	図書の表紙及び著者名のページの写し
大学・学術団体等での講演	20 / 異なる講演内容	発表者名付きプログラムのコピーまたは、主催者の証明
技術会議への出席(議長や委員長の場合)	2 × 参加時間	委嘱状と開催案内の写し
技術会議への出席(委員や幹事の場合)	1 × 参加時間	委嘱状と開催案内の写し

### 3. 海洋調査協会CPD 制度を利用した試験制度への改定

#### 3.1 港湾海洋調査士補の制度の新設

より質の高い業務経験は、基本的な知識を習得してから、実務経験をすることが必要と思われる。例えば、大学を卒業して、初めて港湾海洋調査業務に従事する時に、最初に基本教育を受けることである。この考えに基づき、港湾海洋調査士補の制度は、新設された。

#### 3.2 港湾海洋調査士補の試験

港湾海洋調査士補の資格を得るためには、協会が実施する、港湾海洋調査士補の研修を受講し、修了試験に合格するか、港湾海洋調査士補の試験に合格する必要がある。

研修・試験の内容は、現行1次試験の共通部門(関連法規・港湾工学・海洋調査概論・気象概論・安全)の研修・試験である。

なお、特例として、平成19年度の研修受講者で修了試験合格者及び1次試験合格者は、港湾海洋調査士補の資格が与えられる。

##### ① 受験資格

なし。

##### ② 試験の実施時期

毎年10月を原則とする。また、港湾海洋調査士補と港湾海洋調査士の試験を同じ日に行う。実施時間が異なるため、同じ日に、この2試験の受験は、可能である。

##### ③ 研修・研修修了試験の実施

原則として、港湾海洋調査士補と港湾海洋調査士の試験の前日に実施する。

#### 3.3 港湾海洋調査士の試験

##### ① 受験資格の条件

港湾海洋調査士を受験するためには、次の3条件を全て満たす必要がある。

条件① 港湾海洋調査士補の資格を有すること。

条件② 次の実務経験評価期間内で次の受験に必要な実務経験ポイントがあること。

条件③ 港湾海洋調査士補の資格を取得した試験の実施年度を含め、大卒で5年以上、その他で8年以上経過した年度に受験すること。

ただし、移行措置として、平成20年度、平成21年度、平成22年度のいずれかに港湾海洋調査士補の資格を取得した者に対して、条件③は、免除される。

##### ② 受験に必要な実務経験ポイント(表-1に基づいて評価)

大卒:1年間に30ポイント以上で5年間の受験部門の実務経験を含む実務経験が必要。

その他:1年間に30ポイント以上で8年間の受験部門の実務経験を含む実務経験が必要。

ただし、1年で30ポイントに満たないが、連続する2年で30ポイント以上になる場合は、その2年を1年の実務経験と見なすことができる。

##### ③ 実務経験評価期間

受験年度より10年前の年度の実務経験から評価する。

受験年度より2年前の年度以後の経験が含まれること。

④ 実務の証明書類 表-1に従う。

⑤ 1年の区切り

各経歴の区切りは、年度で行う。

⑥ 港湾海洋調査士試験内容の変更

試験は、筆記試験(現行1次4択と論文)と口頭試問である。一次試験がなくなるため。

⑦ 免除規定

1次試験の免除は、全廃とする。2次筆記試験免除は、筆記試験免除に移行する(表-3参照)。

⑧ 試験の実施時期

毎年10月とする。

### 3.4 受験資格審査への導入スケジュール

平成20年度から海洋調査協会 CPD 制度による受験資格認定を導入する。

## 4. 海洋調査協会 CPD制度を利用した更新(5年更新)制度への改定

### 4.1 更新条件の変更

#### ① 更新条件

資格取得または、更新後5年経過していること。過去5年間の(実務経験 CPD ポイント+教育 CPD ポイント)が60ポイント以上で、実務経験 CPD ポイントと教育 CPD ポイントが共に20ポイント以上であること。さらに、実務経験 CPD ポイントの中に、更新しようとする資格の専門分野の実務が含まれること。

#### ② 資格の失効と再認定

更新に必要なポイントに達しない時、更新を申請しない時、資格は、失効する。失効後、①の更新条件を満足した場合は、受験料相当額を支払うことで、届出の翌年度に、新規認定者として資格の認定を行う。ただし、従来との整合性のため、資格期限を経過した翌年度の9月末日以前の更新申し込み限っては、受験料相当額を支払うことで、連続して更新したことと扱う。(更新忘れの救済)

#### ③ 移行措置

ただし、移行措置として、平成22年度までは、従来の更新条件「海洋調査協会が実施する共通部門の研修を受講するか、更新申請の日までの3ヶ年間に2回以上、港湾海洋調査業務の実績があること。」で更新可能とする。

\* 移行措置による申請も受け付けるが、新制度の趣旨から、できる限り新更新条件で更新されることを薦めます。

### 4.2 新更新条件の導入スケジュール

#### ① 導入年度

平成20年度から導入する。

表—3 保有資格と専門試験における試験免除一覧表(新制度)

調査士部門 保有資格	深浅測量	危険物探査	土質・地質 調査	環境調査	気象・海象 調査
水路協会 沿岸1級	筆記試験				筆記試験
水路協会 港湾1級	筆記試験				
水路協会・海洋調査協会 共催 沿岸海象調査研修 「水質環境」コース				筆記試験	
「海洋物理」コース					筆記試験
前年筆記試験合格者で、 同部門受験	筆記試験	筆記試験	筆記試験	筆記試験	筆記試験

#### 5. 港湾海洋調査士受験年度と港湾海洋調査士補の合格年度の関係

港湾海洋調査士受験年度(あなたが受験に必要な実務経験ポイントを取得できた年度)に対する、港湾海洋調査士補の試験に合格しておくべき、あるいは、すべき年度範囲を表—4、表—5に示す。

例えば、あなたが平成25年度に、受験に必要な実務経験ポイントが達成でき、受験する場合は、平成20年度、21年度、22年度のいずれかの年度に港湾海洋調査士補の試験に合格しておく必要があります。

表—4 港湾海洋調査士受験年度と受験に必要な港湾海洋調査士補の合格年度(大卒の場合)

港湾海洋調査士受験年度(平成)	港湾海洋調査士補試験受験年度範囲 (平成)
20	20
21	20, 21
22	20, 21, 22
23	20, 21, 22
24	20, 21, 22
25	20, 21, 22
26	20, 21, 22
27	20, 21, 22
28	20, 21, 22, 23
29	20, 21, 22, 23, 24
30	20, 21, 22, 23, 24, 25

表—5 港湾海洋調査士受験年度と受験に必要な港湾海洋調査士補の合格年度(大卒以外の場合)

港湾海洋調査士受験年度(平成)	港湾海洋調査士補試験受験年度範囲 (平成)
20	20
21	20, 21
22	20, 21, 22
23	20, 21, 22
24	20, 21, 22
25	20, 21, 22
26	20, 21, 22
27	20, 21, 22
28	20, 21, 22
29	20, 21, 22
30	20, 21, 22
31	20, 22, 23
32	20, 21, 23, 24
33	20, 22, 23, 24, 25

① 今後、港湾海洋調査士認定試験を受けられる方は、平成20年度、21年度、22年度のうち、いずれかの年度に港湾海洋調査士補の試験に合格しておきましょう。

合格しておかないと、港湾海洋調査士補に合格後、大卒で5年経過、その他で8年経過しないと港湾海洋調査士の受験ができなくなります。

② 港湾海洋調査士補受験予定者、港湾海洋調査士受験予定者、港湾海洋調査士補有資格者、港湾海洋調査士有資格者は、平成20年3月に配布される、ポイント管理ソフトを入手し、平成19年度以前の経歴等の登録を済ませておきましょう。

その後、継続的に、実務あるは教育経験の都度、速やかに追加登録をしましょう。

## 6. 現在の試験体系と新試験体系の比較

### <現在の試験体系> 資格:港湾海洋調査士

大卒5年 その他8年の経歴 事業所長の証明



1次試験		2次試験	
共通問題(4択)	専門(4択)	筆記試験(論文)	口頭試問

5年毎の更新

更新条件:過去3年に2度の実務経験か、共通議受ける。

### <新しい試験体系> 資格:港湾海洋調査士 及び 港湾海洋調査士補

港湾海洋調査士補の試験
共通問題(4択)

合格 ⇒ 港湾海洋調査士補の登録



大卒5年 その他8年の経歴を実務経歴ポイントで証明



港湾海洋調査士の試験		
専門(4択)	筆記試験(論文)	口頭試験

更新期間:5年+ $\alpha$  最短5年

更新条件:前回発行した日からの実務経歴ポイント と 教育ポイントがあるレベルに到達し、なおかつ 5年以上経過していること。